

南郷温泉 しやくなげの湯

Nangou Onsen Syakunagenoyu
(群馬県沼田市)



外観

群馬の関越道・沼田 IC 東側には丸沼高原、尾瀬岩鞍、川場など私が好きなスキー場がたくさんある。いずれも、首都圏から近く、大きな標高差を持ち、タフな斜面があり、雪質も良好だ。そして、このあたりは温泉も豊富だ。今回紹介するのは、その中の一つ、南郷温泉 しやくなげの湯である。

尾瀬岩鞍でスキーを終え、国道 120 号線を沼田方面に進むと、休日午後の 120 号線渋滞回避目的で設けられた昭利 IC へ向かう分かれ道がある。しやくなげの湯はここからアクセスする。この先はどんどん道が険しくなっていく、ついにはダムの上や車が 1 台やっと通れるトンネルを通ることになる。しかし、しやくなげの湯に到着すれば、こんな交通の便の悪いところにこんなにもたくさんの方が来ているのかと驚かされるであろう。

しやくなげの湯は、一言で言えば木のぬくもりが感じられる温泉だ。柱・梁共に無垢の木。壁も無垢の木か土壁を使用している。浴室と浴槽も、一部でタイルが使われている以外は基本的に同じだ。檜風呂は内湯に 2 槽、露天風呂に 2 槽と惜し気もない。

その浴槽の縁は、温泉の成分によりぬめりが生じているが、スリットを入れることで滑りにくいようになっている。利用者への思いやりが感じられる構造だ。湯温はおおむね適温からぬるめ。温泉にしては珍しく、気泡湯やマッサージ湯もある。

私のお気に入りには内風呂で湯の入口から最も遠いところにあるマッサージ流の場所だ。ぬるめになっており、長湯が可能だ。露天風呂なら、気泡湯が落ち着く。

サウナは室内温度 92℃。そのサウナの前にある水風呂には水温計が設置されていないが、恐ろしく冷たい温度だ。サウナファンなら最高の水風呂であろう。

洗い場は12か所あり、ボディソープとリンスインシャンプーが完備。かけ湯も用意されている。

ちなみに、しゃくなげの湯はアルカリ性単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

入浴後は休憩室でごろ寝。今日は尾瀬岩鞍のミルクウェイ、国体女子コース、国体男子コースをかつ飛ばし、その後はぶなの木コース、リーゼンコースのコブで足がズタズタになった。明日は川場にある無名蜂のモーグルバーンを攻めるつもりだ。温泉が今日の傷を癒し、明日への活力となろう。

しゃくなげの湯を出て駐車場に戻ると、オガサカの板を7本も屋根に乗せたワンボックス車を発見。どんな人が車の主かと思いきや、60代男女の元気な集団だった。しゃくなげの湯は、スキーヤーにはもはや欠かせない存在になっている。

- **名称**：南郷温泉 しゃくなげの湯
- **所在地**：群馬県沼田市利根町日影南郷 100 番地
- **電話**：0278-20-0011
- **営業時間**：10：00～21：00
- **定休日**：4月～11月：第1、第3木曜日、12月～3月：木曜日、1月1日（1月1日を除き、祝日の場合は前日休み）
- **通常入浴料**：大人 2 時間 500 円、小人（3 歳以上小学生以下）2 時間 300 円、身体障害者 2 時間 300 円、家族風呂 1 時間 1,000 円、家族風呂身体障害者 1 時間 700 円（左記以外に 12 歳以上は入湯税 50 円が必要）
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013 年 3 月 16 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部